世界に広げる眼鏡っ娘の輪
Links of Meganekko, We develop.

WGO 世界眼鏡っ娘機関 オフィシャル機関誌

MEGANE COMPLEX

創刊号 Vol.1 **2016 Jan.**

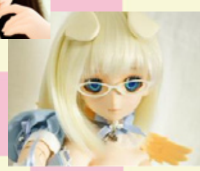


WGO 代表・眼頭一〇時〇一分が説く！
『眼鏡っ娘論 2016 初頭』

真奈ちゃん大活躍！？
Glassias! 紹介マンガ
アイドル☆になりたい！

写真特集
『眼鏡っ娘も
2.5 次元の時代 !?』





ゲストイラスト
さかき さん

巻頭 水着グラビア

WGO 世界眼鏡っ娘機関公式イメージ眼鏡っ娘
加々美真奈インタビュー

～はじめに～　WGO 世界眼鏡っ娘機関　推奨眼鏡っ娘基準

近年、ようやく眼鏡っ娘がサブカルチャーにおいてメジャーな属性になりつつあります。かつてはマイナーな属性であり、眼鏡っ娘ファンが「眼鏡っ娘である」と認める範疇は現在と比べると非常に狭いものでありました。

しかしながら近年の属性としてのメジャー化に比例して、様々なタイプの眼鏡っ娘が登場し、また眼鏡っ娘ファンも増加し、草創期からの眼鏡っ娘ファンも、その「眼鏡っ娘基準」に関して、以前より大幅に寛容になっている方が多数であると見受けられます。

当機関においてもかつては、「何をもってして眼鏡っ娘とするか」という判断基準が非常に限定的でありました。しかしながら眼鏡っ娘を取り巻く状況は前述のとおりであり、今回、改めて現状に即した、当機関としての新たな判断基準をここに示すものであります。

ただし、ここでご理解いただきたいのは、かつてから当機関が申し上げている通り、「眼鏡っ娘であるかどうか」の判断基準は、各人の眼鏡っ娘観により千差万別であり、その各々の判断基準は何人（なんぴと）にも否定されるものではないということであります。

従って、下記に示す眼鏡っ娘判断基準は、タイトルにもある通りあくまでも「推奨」のものであり、当機関がどのような判断基準に基づいて眼鏡っ娘としているかどうかをご理解いただくためにお示しするものです。

どうか、この推奨基準が皆様の眼鏡っ娘に対するご理解の一助となることを願ってやみません。

～WGO 世界眼鏡っ娘機関 推奨眼鏡っ娘基準 本文～

1.眼鏡を着用した女性であること。
[当機関では眼鏡っ「娘」という表記を採用するものであり、男性はその対象にならない。]

2.眼鏡を着用することにより、裸眼状態よりも容姿的魅力が増す、または、見る者に『眼鏡っ娘である』と充分認めさせる程の容姿的魅力や雰囲気を持つ女性であること。
[女性が眼鏡を着用すればすべて眼鏡っ娘になるわけではない。眼鏡っ娘とは限定的な存在であり、『眼鏡を着用した女性』と『眼鏡っ娘』は同義ではない。]

以上を当機関では眼鏡っ娘としての最低限要件とする。また、以下に附則を示す。

附則 1.眼鏡に度が入っているかどうかは問題にならない。
附則 2.眼鏡の着用頻度については極めて稀少な場合を除き、問題にならない。

以上


WGO イメージ眼鏡っ娘
加々美真奈
水着グラビアデビュー!!
はじける!
14歳。


♪Profile♪
加々美真奈（かがみ・まな）14歳。JCにして、
B84 W56 H88のダイナマイトボディ。
学校では手芸部に所属し、部員たちとアイドル
ユニットを結成。WGO公式イメージ眼鏡っ娘
として一躍注目を浴び、ユニット名を
"Glassias!"に決定、本格始動を果たす。

次項インタビュー、
Glassias!登場の巻末マンガも
要チェック!!

WGO世界眼鏡っ娘機関公式イメージ眼鏡っ娘

加々美真奈インタビュー



――簡単に自己紹介をお願いします。

こんにちは。加々美真奈14歳です。眼鏡っ娘アイドルを目指しています。この度、WGO世界眼鏡っ娘機関さんのイメージキャラクターに選ばれました。若輩者ですがどうぞよろしくお願いします。

――こうやってインタビュー形式で世間に発信するのは初めてだけど、WGOのイメージ眼鏡っ娘に選ばれた率直な感想を聞かせてもらえる？

うーんと、私の野望、「全人類眼鏡計画」が宇宙電波で伝わったんじゃないかと。すみませんうそです。私はアイドルを目指しているので、眼鏡っ娘アイドルとしてもっと眼鏡をかける人たちが増えることを願っています。今、眼鏡をかけてるアイドルって少ないと思うんですよ。だから眼鏡をかけたアイドルが増えることも願っています。眼鏡っていう素敵なアイテムがあるのに、わざと眼鏡を外しちゃうのはもったいないと思います。眼鏡をもっと多くの人に「かわいい」って思ってもらうことが私の使命かなって思っています。

――真奈ちゃんは何歳くらいからアイドルを目指そうと思ったの？

ママが昔アイドルをやっていたので、ちっちゃい頃からアイドルに憧れていました。きっかけは3歳のときに、「あの人はなう」って番組でママと一緒にTVでうたを歌ったことですね。そのとき、私は自然にアイドルになるものだと思っていました。だからネットを通じてアイドルを目指すようになったことで、「前進してるなー」って思っています。でももっと多くの人に真奈を知ってもらうためには、いろんな場所でライブを披露していくのも大切なことだと思っています。もっと外へ出ていかないとなって。

――アイドルでも眼鏡を外さないというこだわりが、WGOのイメージ眼鏡っ娘に選ばれたひとつの要因だと思うけど、眼鏡は小さい頃からかけていたの？

ママの眼鏡に憧れてちっちゃい頃におもちゃの眼鏡をかけてました。眼鏡をかけるためにわざと暗い所でマンガを読んだりして、自力で視力を下げました。パパが「眼鏡がないとダメだな」って言った時、正直勝ったと思いました。初めて眼鏡をかけたのは7歳の時です。マイ眼鏡がうれしくて一番の宝物になりました。眼鏡っていうかわいいアイテムがあるのに、外しちゃうのはもったいないと思います。

――真奈ちゃんはアイドルにふさわしく、スタイル抜群、特におムネが14歳にしては凄いものがあるけど、何歳くらいから大きくなり始めたの？

胸のことはちょっと…じつはコンプレックスで。おっきすぎるかなあと思ってます。小学4年生の時に初めてブラをつけました。そのときクラスでブラをしてるのは私だけで、すごく恥ずかしかったです。男の子からえっちな目で見られるのもすごく嫌でした。一番悪いのはおねえちゃんが私のおっぱいをもむことです。おねえちゃんより大きくなってしまったのでおっぱいをいじめるんです。だからどんどんおっきくなっちゃったんだと思います。少しくらいお姉ちゃんに分けてあげたいです。



--スタイルを維持するために意識してしていることってある？

私なんて全然！胸は無駄に大きいしお腹まわりはぷよぷよだしおしりも大きいし、スレンダーになりたいです。好きなものを食べてゴロゴロしてるのがよくないんだと思います。でもなあ…ポテチは私の幸せ成分なので定期的に補充しなきゃいけないです。ポテチを食べなかったらダイエットできるんでしょうけど、幸せ成分がなくなるのはつらいです。アイラブポテチ。

--真奈ちゃんの好きなものとか、最近のマイブームを教えて？

好きなものはさっきも言いましたけどポテチです！サワークリーム味が一番好きです。のり塩も好きです。最上級に好きなのはプリングルスなんですけど、高いので一気食いできないのがつらいです。アイドルで成功したらプリングルスを大人食い（？）します。１０本くらい買っておなかいっぱいになるまでプリングルスを食べたいです。最近自分でもポテチを作ることを覚えて、暇さえあればポテチを揚げています。でもなかなか塩がくっつかないのが悩みどころで、これはどうしたらいいのかなってさっきまで考えていました。

--真奈ちゃんはプライベートや学校でどんな風に過ごしてるの？家族や友達のこととか、何でもいいのだけれど。

学校では手芸部に入っています。そこでアイドル衣装を作っています。それだけじゃなくて、歌と踊りの練習とか曲のアレンジだとか、そういうアイドル活動のこともやってます。手芸部の友だちがアイドル仲間なので、ほとんど「アイドル部」みたいになってますね。廃部寸前の部を引き継いだので、わりと好き勝手にやらせてもらっています。ちなみに、今度文化祭に出ます。

--眼鏡っ娘としての真奈ちゃんからみた、理想のメガネストってどんな男性かな？

うーん、男の人ってちょっと苦手なんですが、眼鏡を心から愛してる人は素敵だと思います。眼鏡って「外せばいい」みたいな風潮ってあるじゃないですか。コンタクトはかっこいい、みたいな。そういうの、ファックだと思うんですよね。そういう風潮に逆らって眼鏡愛を貫くってクールだと思います。世の中が「アンチ眼鏡」なのに、眼鏡愛を持ってる人はさいこうにロックだと思います。

--眼鏡っ娘としてのこだわりやポリシーがあったらぜひ聞かせて。

私は簡単に眼鏡を外しちゃいけないと思います。例えばここぞという時、眼鏡を外しちゃったら何も見えないじゃんってなると思います。平気で眼鏡を外しちゃうのは眼鏡をかけてる自分を否定することです。眼鏡をかけている自分がいつもの自分だとすると、ここぞという時に眼鏡を外しちゃうのはそれまでの自分を否定することなんじゃないかなあと。大事な時ほど自分自身でありたいと私は思います。

--最後に、この記事を読んでくださっている読者の方へ、そして全世界のメガネストさんたちにメッセージを！

私のインタビュー、面白いこと言えなくてすみません。私は眼鏡をかけたアイドルを目指しています。眼鏡でコンプレックスを抱えている子たちには、元気を分けてあげたい。眼鏡って素敵だよ、かわいいんだよ、かっこいいんだよってもっとみんなに伝えたい。そして、それをポリシーにしてる人たちにエールを送れたらいいと思います。私はアイドルになってみんなを応援できたらいいなって思います。どうか温かい目で見守ってくれたらうれしいです。これからもどうぞよろしくお願いします！

ペットの猫、いおんちゃんと一緒で、とっても楽しそうな真奈ちゃんでした。
真奈ちゃんの公式ツイッター（@mana_kagami）を要チェック！
そして、アイドル活動の一端が見られる、巻末のマンガはさらに要チェックだ！

世界に広げる眼鏡っ娘の輪
Links of Meganekko, We develop.

WGO 世界眼鏡っ娘機関 オフィシャル機関誌

MEGANE COMPLEX

創刊号 Vol.1 2016 Jan.

もくじ

ショートカット眼鏡っ娘は正義。

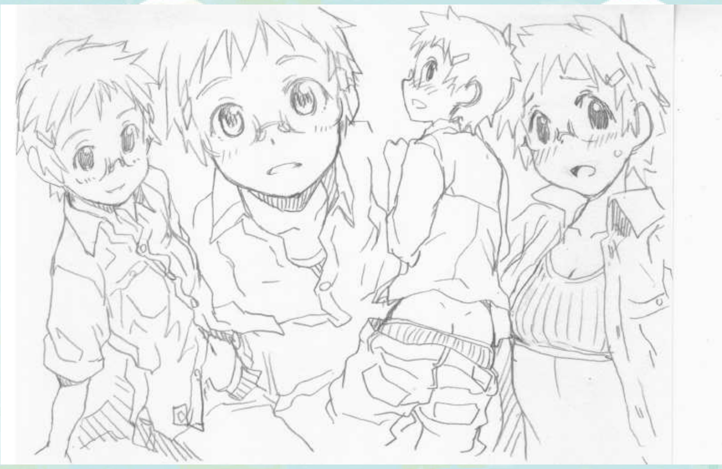
眼鏡っ娘のなかでも、ショートカット眼鏡っ娘が大好きな
ＷＧＯ代表・眼頭一〇時〇一分が入れ込んでいるショートカット眼鏡っ娘を紹介する記事ですよ！
今回ご紹介するのは、個人サークル『妖精漫画社』の、さかきさんが描く
オリジナル眼鏡っ娘『ショートちゃん』です！
ショートカット眼鏡っ娘好きなメガネスト達よ、刮目せよっっ！！



いろんな表情が可愛過ぎるぅぅ～～！！！



設定がたまらんです。150cm、49kg くらい。ショートな上にミニマム。



お着替え中だったのかな？



何気ない表情や仕草にドキドキしちゃう。。。



はいてない。
布団にくるまる裸のショートちゃん。
たまらんす、ボクも一緒にそのお布団で寝ます！おやすみなさい。。。



ミニマムでもおムネはちょっと大きめなのがいいね。。。お尻は小ぶりだけど
プリッと柔らかそうなのがたまらんです。さかきさんのおムネとお尻の描写は
本当に絶妙で、エロくないんだけどエロい、エロいんだけどエロくない、
ってな感じが素晴らしいです。

画：さかき さん (twitter:@sakaki_fff)

眼鏡っ娘論　２０１６初頭

ＷＧＯ世界眼鏡っ娘機関代表兼東京グローバル本部長
眼頭１０時０１分

もし、本誌冒頭の「はじめに」をまだ読んでいない場合は、そちらをまずお読みいただきたい。なぜなら、この眼鏡っ娘論は、当機関の理念への理解なくして、語れないからである。「はじめに」に書かれている内容は当然の事としてご認識いただいているという前提のもと、書き進めていくものである。

私がＷＧＯを立ち上げたのがいつだったかははっきり覚えていないが、確か２０００年前後だったと思うので、設立から約１５年程経った。まだ眼鏡っ娘属性が草創期であった頃から始まったが、その頃とは状況も環境も一変し、あわせて私の考え方も随分と変化した。そして、現在のオンライン環境というのは本当に便利なもので、特にツイッターを始めてからは本当に活動がしやすくなった。簡潔な議論のやりとりがとてもしやすく、当機関のアカウントでもフォロワーとの間で、眼鏡っ娘について幾度となく意見を交わし、私自身見識が深まったし、改めて眼鏡っ娘というものの奥深さや素晴らしさを実感することができた。

ツイッターで眼鏡っ娘論的なことを呟いた時に感じるのは、フォロワー以外がＲＴする時は、画像より文章のみの眼鏡っ娘論的ツイートの時が多いという事だ。これは、眼鏡っ娘がいかに精神的なものであるかを示していると思う。とはいえ眼鏡っ娘とはヴィジュアル的要素が強いものなので、結果、見た目なのだが、その見た目は精神的に形作られた結果なのだと気づいたのである。そう考えると、なぜ『眼鏡をかけた女性と眼鏡っ娘が同義ではない』のかという真理が少し紐解ける感じがするのだ。例え話しになるが、新幹線輸出の時に言われるのは、新幹線は車両だけでなく、線路、信号、管理、そのシステムすべてのパッケージが新幹線なんだと。眼鏡っ娘も同じ事が言えると思う。眼鏡だけでなく、容姿、内面、品格ないしは風格。その全てが揃わないと眼鏡っ娘とは言えない。

これとは違う意味で精神的部分が大事だと思うのは、眼鏡っ娘を描く絵師、特に商業ベースの漫画家である。芸術作品というのは作者の精神がとても反映されるというのは言うまでもないが、眼鏡っ娘の場合も、その眼鏡っ娘を描いている漫画家がメガネストかどうかというのは非常に大きな問題なのである。なぜならば、メガネストの漫画家の場合、そもそも描かれる眼鏡っ娘の質が断然高いというのは勿論なのだが、それ以上に、作品を通してメガネストの代弁をし、あるべき眼鏡っ娘表現を世に広めているからである。普通の漫画家は、眼鏡っ娘を登場させたとしても、非常に残念な描写となってしまうこ

とが多々ある。メガネストの間で特に叫ばれているのは、エッチシーンに突入した途端に眼鏡を外すパターンである。常識的に考えれば正解なのであろうが、それは我々メガネストの前では全くの形骸である。あえて言おう、カスであると。・・・何が言いたいかというと、メガネストの漫画家が、メガネスト以外の多くの読者も当然読むであろう商業ベースの漫画雑誌で、あるべき眼鏡っ娘表現を描くということが、眼鏡っ娘やその精神の普及という観点で、どれだけ力強いものであるかという意味において、彼ら彼女らの活動は、とても重要であると言わざるを得ない。

そして、エッチシーンつながりでもうひとつ言及しておきたいのが、ＡＶにおける眼鏡っ娘である。私は、このＡＶ業界が生み出す眼鏡っ娘の質の高さに、唸らざるを得ない。眼鏡っ娘を「作り出す」という事において、3次元の場合は2次元のそれと比較にならないほど難しい。それを証拠に、よく、女性芸能人が眼鏡をかけた画像が眼鏡っ娘画像として掲載されているのを見るが、いいと思えるものはほぼない。それだけ難しいのである。にもかかわらず、これだけＡＶ業界の眼鏡っ娘ものの質が高いのは、本当によく研究しているか、敏腕メガネストのプロデューサーがいるのかのどちらかだろう。どちらにしても、キャスティングや演出含め、物凄いプロデュース力である。

ＡＶの話しの後で語るのは気が引けるが、3次眼鏡っ娘界のトップに君臨する人物といえば、そう、「時東ぁみ」しかいないだろう。伊達眼鏡ということで異論があるかもしれないが、少なくとも、自らを眼鏡っ娘アイドルとしてプロデュースし、メガネストがどういうものを求めているか理解しているであろう見せ方を武器に活動しそれで生活しているのだから、もうこれは、「プロの眼鏡っ娘」である。おそらく日本で、いや、世界で唯一かも知れない。しかしそんな彼女も、グラビア撮影で眼鏡を外すパターンがある。本来ならば、なにをけしからん!となるところであるが、とあるもうひとりのアイドルの眼鏡姿画像と合わせて、気付いてしまったことがあるのだ。そのもうひとりとは、「乃木坂４６」の「西野七瀬」だ。はじめは彼女だと知らずに、かなりいい感じの3次眼鏡っ娘だなぁ、と感銘を受けたのだが、何ヶ月もして、その眼鏡っ娘の正体が西野七瀬であることを知った。それで、眼鏡をかけていない西野七瀬の画像を検索して見てみたのだが、まぁ見事に地味顔で、もちろん可愛いのだけれど、印象に残らないのである。そして、前述した時東ぁみの眼鏡なし画像で感じたことも同じ。地味すぎて、「誰!?」という感じだったのである。そこで気付いたのである。印象に残らない地味顔こそ、眼鏡っ娘として至高なのだということを。

近年台頭している新しいタイプの2次眼鏡っ娘は、昔と比較するとかなりポップになってきていて、それが主流というか流行になってきているので、草創期からの古いメガネストとしては、「それでも最高なのはベースが地味な眼鏡っ娘なんだ」という拘りが最早不要なものなのではないか、と信念に

少々自信が揺らいでいたのだが、2次より格段に眼鏡っ娘の成立が難しい3次において、納得の眼鏡っ娘が生み出される条件が地味顔にあることを発見出来たこの事実に、私は自らの信念に自信を取り戻すことが出来たのである。それだけでなく、さらに別のことにおいても、確信を持つことが出来た。普段街を歩いていると、日にひとりは必ずいい感じの眼鏡っ娘と遭遇するものであるが、世にごまんとあふれている芸能人眼鏡画像を見ても、なかなか納得いくものはないのである。その答えも、「地味」というキーワードが当てはまるのだと思う。メディアに出ているようなタレントは地味とは対極にいるわけで、芸能人の眼鏡画像から眼鏡っ娘など簡単に見つかるわけがないのである。3次眼鏡っ娘好きは、ネットで画像を漁ってないで、街へ出るべきなのである。

ここまでの話しは昔から感じていることではなく、最近感じたことばかりである。これらのことは、私を新たな眼鏡っ娘の境地へと導いているのかも知れないと感じる。眼鏡っ娘は言うまでもなく眼鏡というアイテムありきのものであり、それは見た目、ヴィジュアル的なものである。そして私自身、そのことに、つい最近まではなんの疑いもなかった。だが、ここまで述べてきたように、眼鏡っ娘というのはどうも「精神」というのがいろんな意味でキーワードになっているのかもしれないと思ってからは、先ほど述べた、「それは見た目、ヴィジュアル的なものである。」という部分に加筆し、「それは『最終的には』見た目、ヴィジュアル的なものである。」とすべきであることに気付いた。

それを決定付けたのは、とあるフォロワーとのあいだで、アイマスの律子（りっちゃん）についてツイッター上で意見を交わした時の事である。私はりっちゃんがとても好きなのであるが、そのフォロワーはあまり好きではないという。その理由は、キャラデザがあまり可愛くないから、というものであるが、りっちゃん好きの私からみても、確かに、ほかの眼鏡っ娘はもちろん、アイマスのキャラたちと比較しても、可愛いキャラデザではない。でも、私はりっちゃんが大好きだし、物凄く可愛く感じるのである。そう、可愛く「見える」のではない、「感じる」のである。この議論をするまでは、自分自身、なぜりっちゃんが好きなのか、理由など考えたこともなかったのだが、この議論を通じて気付いたのである。私はりっちゃんの内面が好きなのだと。内面を好きにならないと、可愛く見えてこない眼鏡っ娘なんだ、と。律子の可愛さは、眼鏡っ娘としての可愛さというより、人間的魅力なんだ、と。そういう意味では稀有な眼鏡っ娘であると言えると思う。ただ、いくら眼鏡っ娘に「精神」という要素が重要だとはいえ、眼鏡っ娘とはやはり最終的にヴィジュアル的なものであることは間違いない。そうなると、『律子の可愛さは、眼鏡っ娘的可愛さより人間的魅力』ということであれば、律子の眼鏡っ娘としての価値や存在意義っていったいなに?ということになる気がする。

その自問で気付いたのだが、眼鏡というアイテムは、眼鏡っ娘足り得る素質を持った女性の内面的魅力を、引き出したり増幅したりするブースターなの

ではないかと。律子は単純にひとりの女の子として可愛いし、ひとりの人間として魅力的なひとだ。そのうえで、その魅力が眼鏡によって多大に増幅されて、とんでもなくイケてる眼鏡っ娘に律子はなったのだ。そう考えるととても合点がいく。それと同時に、先程言及した、『眼鏡っ娘は地味顔が至高』ということに関しても答えが出る。眼鏡っ娘足り得る素質を持った地味顔の女性にとって、眼鏡というアイテムは、パッとしない地味顔をたちまち魅力的で印象的なものに昇華させる、いわば『補完具』のようなものなのだと。そうすると、眼鏡っ娘は大きく2種類に分けられるということになる。律子のような『内面増幅型眼鏡っ娘』と、ほかの多くの眼鏡っ娘が該当するであろう『外見補完型眼鏡っ娘』だ。この分類にどれほどの重要性があるかはわからないが、眼鏡っ娘への理解が深まるヒントのひとつという意味では、一応の価値はあるだろう。

ところで、眼鏡っ娘というジャンルが今日まで発展してきた過程のなかで、いくつかのトレンドを経てきたと思う。草創期は大きい黒縁が定番で、それ以外の眼鏡は邪道だとさえされていた時代。そこから時を経て、次にブームとして明らかに眼鏡っ娘に変化が生じたのは、「ノンリム（リムレス・フレームムレス）」の到来である。このブームは凄まじく、私の好みで恐縮だが、「ドキドキプリティリーグ」の「牧野泉」をはじめ、この時期に実にたくさんのノンリム眼鏡っ娘が誕生した。それからしばらくして、眼鏡っ娘は一気にポップなフレームやデザインが主流になる。眼鏡っ娘というジャンルがだんだんとメジャーになってきたのもこの頃からだ。いわゆる「オシャレ眼鏡」と言われている、様々な色のフレームや、それまで眼鏡っ娘の眼鏡といえば大きいレンズが定番だったが、それを打ち破るように小さいレンズの眼鏡を着用した眼鏡っ娘も次々に登場した。正直、このブームに、草創期からのメガネストである私は戸惑いを隠せなかった。それまでの眼鏡っ娘と比較して、明らかに異質なものが次々と流れ込んでくるような感覚に囚われたのだ。しかし、それは今にして思えば、眼鏡っ娘というジャンルが現在のレベルまでメジャーになり、広がりをもつために必要な荒療治のようなものだったのかもしれない。事実、これをきっかけに様々な考え方や好みのメガネストが新たに発生し、そういった新たなメガネストたちの意見や考え方に触れることで、旧来のメガネストたちの眼鏡っ娘に対する考え方も、随分と寛容なものへと変化したように思う。眼鏡っ娘の裾野はいっきに広がり、メガネストを標榜するひとたちも確実に増大したのである。

そういった変化を遂げ、この文章を執筆している２０１５年末現在、眼鏡っ娘のトレンドはほぼほぼ一周したかのように見える。それは、栗山未来の登場でいっきに認知が広がった赤縁眼鏡が現在人気であるが、この未来ちゃんが掛けている赤縁眼鏡のフォルムは、草創期に定番とされていた黒縁眼鏡とほぼ同じなのだ。つまり、新旧のトレンドが合わさっているのである。フレームの色が赤というポップな色使いではあるが、旧来のメガネストである私にとっても、まったく気にならないどころか、むしろイケてるとさえ思える。ほかにもさまざまな大きさやデザインの赤縁眼鏡を掛けた眼鏡っ娘がいるが、

一様にしてイケているると感じるのである。つまり、赤という色は、どうも眼鏡っ娘と相性がいい色のようである。ほかの色とは比べ物にならないくらいしっくりくるのである。この「赤縁眼鏡」は、眼鏡っ娘新時代を表すひとつの象徴と言って良いだろう。眼鏡っ娘と言えば黒縁、という図式が支配的だった時代からの人間をも虜にする赤縁は、古い眼鏡っ娘とポップな眼鏡っ娘を見事に融合した、集大成なのかも知れない。さらに、トレンドが一周したと感じる要素としては、俺妹の麻奈美や、「あさひなぐ」の旭、「不器用な匠ちゃん」などのように、黒縁やノンリムの眼鏡っ娘がまた最近増えてきていることだ。

以上を踏まえると、いま、眼鏡っ娘の歴史は転換点を迎えたのかもしれない。今後、また新しいタイプの眼鏡っ娘が生まれるのか、逆に衰退してしまうのか、それとも同じような歩みを繰り返すのか。そんなことを考えると、メガネストとしては、これからが本当にこのジャンルを支え、見守るべき時期に来たと感じる。

ここで、眼鏡っ娘のメジャー化という観点において、ひとつ問題提起しておきたいことがある。眼鏡っ娘にメジャー化は必要ない、というご意見もあろうが、仮にメジャー化するとしたら、メガネストたちが一体となって取り組むべきことがあると思う。ひとつは、眼鏡っ娘の「表記」の統一だ。これはネット検索時代の弊害とも言うべきであろうが、眼鏡っ娘に関する画像や情報を検索するとき、サイトや記事によって「眼鏡っ娘」の表記がてんでばらばらなのである。これでは、眼鏡っ娘に関する情報を検索するのに、何通りもの表記をいちいち打ち込みなおして何度も検索する必要があるし、情報の取得漏れだって起こりうる。以前、ツイッターで「#めがねっこ表記論」というハッシュタグで意見を募ったことがあるのだが、人それぞれがそれぞれの表記に対してそれぞれのこだわりをもっており、非常に興味深かった。個々の拘りがそれぞれとても素晴らしいので、そういう意味では表記を統一するということについてあまり意味はないのかもと思ったのだが、しかし、これからの眼鏡っ娘ジャンルの発展において、表記の統一は避けて通れないだろう。そう思ってさらにいろいろ調べた結果、メガネストでない人たちがネット上で眼鏡っ娘をあらわすときに使っている表記は、どうも「めがねっこ」らしいということがわかった。なるほど、すべて平仮名で「めがねっこ」であれば、変換で迷う必要もない。非常に理にかなっている。そういうわけで、表記の統一をするべき時が来たら、私自身は平仮名で「めがねっこ」にすることを推奨したい。

もうひとつ取り組むべきであろうことは、全メガネストが集う「眼鏡っ娘のポータルサイト」を作ることだ。それは、世に存在するすべての眼鏡っ娘サークルや個人サイトへの入り口を一本化することで、どんなメガネストや眼鏡っ娘サークルがあるか一目でわかるし、交流も広がり眼鏡っ娘ジャンルが活発になるというわけだ。ひと昔前は、「ウェブリング」というシステムが存在して、同じジャンルのサイト同士を次々につないでくれる役割で、

「眼鏡っ娘ウェブリング」というのもあって、結構便利だったものだ。そういったものに変わる存在として、ポータルサイトは必要だと思う。

最後に、これまでいろいろ述べてきたが、私の書いたことに同意する方も居れば、反論のある方も居るだろう。しかし、メガネストどうしの意見の相違は、ハッキリ言ってどうでもいいのである。眼鏡っ娘が好き！その気持ちがあればなんでもいいのだ。それ以上でもそれ以下でもない。細かいことはどうでもいいのである。それを認め合ってきたからこそ、今の眼鏡っ娘の発展があるのだと私は思う。たとえ、A氏が眼鏡っ娘だと認めているのにB氏がいやそれは眼鏡っ娘ではない、という話になっても、まったく問題ないのである。大事なのは、異論をぶつけあうのではなく、互いのこだわりの違いや価値観を認め合うことが重要なのだ。ほかのメガネストがどういう眼鏡っ娘観を持っているのかを知ることで、お互いに理解が深まり、眼鏡っ娘界の裾野が広がっていくのだと思う。そういう意味では、眼鏡っ娘作品に沢山触れていくと、相手の眼鏡っ娘観もわかるし、自分の眼鏡っ娘癖もわかってくる。相互理解が大事なのである。そしてこれは少し余談になるが、そうやって沢山の眼鏡っ娘に触れていくと、商業作品では、その作家が仕事として割り切って眼鏡っ娘を描いてるか、それとも真のメガネストかもだんだんと見抜けるようになる。兎にも角にも、メガネストどうしの関係は、「大同小異」であるべきなのだと思う。それが、眼鏡っ娘ジャンルの発展、メガネストの発展に最も大切なことであろうということに言及して、本文の結びとさせていただく。

本文を最後までお読みいただきありがとうございます。
本文に関するご感想やご意見をぜひお寄せください。
また、あなた自身の眼鏡っ娘論がありましたらぜひお聞かせください。
ツイッター（@wgo_meganekko）で相互フォロー済みの方はＤＭでも結構です。
メールでの投書は、wgo.meganekko@gmail.com までお寄せください。

特集 眼鏡っ娘も 2.5 次元の時代 !?

新たな眼鏡っ娘時代の到来を『ドール』、いわば 2.5 次元のひとつに見出した本誌は、以前から気になっていたお二人のドールマスターにお話しを伺いました。ドール写真を交えてお届けします。

――早速ですが、Bergamotto さんのドールは種類が多いですよね！何姉妹なのですか？また、ひとり（一体）ずつお名前も教えていただけますか？長女から順（お迎えした順）にお願いします。

『全員に名前があるわけではありませんが、名前があるのは、果穂，紗穂，悠理，舞夜，瑞季，ミク，卯月，星那で8姉妹です。』

――今回は、こちらの6人にフィーチャーします！



果穂



紗穂

ミク



――あなたはどの娘がお好み？



舞夜

卯月





瑞季

写真：Bergamotto さん (twitter:@C_x_Bergamia)

――わたしは、眼鏡っ娘ドールというものを初めてみたとき、衝撃を受けました。2次元の持つ理想と、3次元の持つリアリティ。理想の存在（偶像）でありながら、同じ次元に存在する、身近に感じる、触れ合える。両方の次元のいいとこどり、これが2・5次元なのかと。それだけに惹きつけられる力は2次元や3次元の比にならないくらい強烈だと思います。Bergamotto さんが思う、ドールについての思いや拘りのようなものを簡単に教えていただけますか？

『当初は造形が気に入ったフィギュアを見つけては購入していたのですが、あるとき、とある方の娘さん（ドール）をウェブで拝見したのがドールをお迎えしたきっかけです。そこから、こうした方が可愛いのではないか、ああした方が可愛いのではないかとウィッグ、小物、洋服などを買いそろえていくうちに某社の眼鏡に行き当たりました。もともと、眼鏡っ娘が好きだったこともあり、気づけば拘りのようなものが固まっていたという感じでしょうか。』



――ドールを「お迎えする」というのはドール愛好家共通の表現だと思いますが、ドールに馴染みのない人間としては面白い表現だな～、という、いわば用語のような印象なのですが、「お迎えする」という言葉にこめられているこだわりやニュアンス的なものを Bergamotto さんなりにで結構ですので、ご説明いただけますか？

『先人たちに倣って私もそのまま使わせて頂いております。いまでは、ドールだけでなく、カメラ、自動車などにも使うようになりました。単に『入手（購入）する』のではなく『（手元に）来て頂く』という気持ちをこめて使っております。』

――ドールの種類は実に豊富だと思います。その中で、Bergamotto さんのドールたちは可愛らしくも素朴な顔立ちで、とても眼鏡が映える娘たちばかりだという印象を受けます。このシリーズを選んだ理由やこだわり、目的などはあるのでしょうか？

『これはメイクをして下さったアーティストさんに依るのかもしれませんが、個人的には眼鏡が似合わないドールは居ないような気がしています。わたし好みのドールにわたし好みの眼鏡を掛けて頂いていると思っております…。』













――ドールのバリエーションだけでなく、ひとり（一体）に対する髪型のバリエーションも豊富ですよね。結構簡単に変えられるものなのですか？また、どのような時に変えようと思うのでしょうか。

『付け替え自体は簡単ですが、似合う似合わないがありますので最近は大きく変えることはないですね。ウィッグは7種類ほど持っており、その中でも銀色のショートウルフと鈍色の姫カットがお気に入りです。』





――これからドールをお迎えしようという方に、アドバイスやメッセージをお願いします。

『まずは気軽にお一人お迎えしてみては如何ですか？』

――最後に、これまで Bergamotto さんが撮影したベストショットを交えて、「眼鏡っ娘ドールとは」なんですか？

『日々の疲れを癒やしてくれる至高の存在です。』

――どうもありがとうございました。







この眼鏡っ娘、

マジ天使。



写真：皆川拓郎さん (twitter:@tanuki_tukky)

―――この娘の写真を初めて見たとき、本当に目を奪われました・・・。この娘のお名前はなんと言うんですか？

『アンと言います。元ネタは2011年頃にお迎えした武装神姫のアーンヴァル MK-2 から。2013年の5月5日にドール化しています。』



―――天使の羽根も去ることながら、この娘の天使たる雰囲気は、なんといっても白フレーム眼鏡と、そしてこの透き通るような銀髪（白髪？）と、可愛らしく垂れた犬耳がポイントだなぁと感じるんですがやはりそこはこだわりポイントなのでしょうか？

『はい。メガネ、犬耳以外にも「金髪碧眼」「タレ目」「泣き黒子」「背中の羽」「人妻」「天然」「天使」と属性を列挙するとキリがありませんが、全てこだわりポイントです。髪色に関しては当初金髪だったのですが、色々なウィッグを試しているうちに「薄い色も綺麗だなぁ」と…。』

―――この白と水色のドレスが、その天使の透明感をさらに演出していますね。もう、これ以上ないってくらいに天使ですね。

『ありがとうございます！カジュアルな服装でなく、ドレスが世間離れした感じを醸すのに一役買っている気がします。』

―――この娘にはやはり、白か水色のふわっとしたドレスがいちばん似合うと思いますが、ほかの私服姿も可愛いですね！私服姿のこんな可愛らしい娘を屋外で撮影していると、デート気分ですね（笑）

『大人しい雰囲気の割にちょっと胸元が激しいかなぁと思ったりするんですが、こういったボリュームのあるドレスを着せるのが好きで、カジュアルなものよりドレスで居ることが多いです。』





―――こんなにめちゃくちゃ可愛らしい姿なのに、少なくともツイッター上では同じ感じのドールを見かけません。もしかして犬耳とか天使の羽根は皆川さんオリジナルだったりするんですか？

『いえ、両方とも買ったものです。羽根はボークス製で、販売店舗が限定された物になります。それでいて「幼SD用」という、規格が違う物を選択しているせいで余計に見かけないのかと思われます・・・。耳はデーラー様による物で委託販売されていた期間も比較的短かったように思います。』

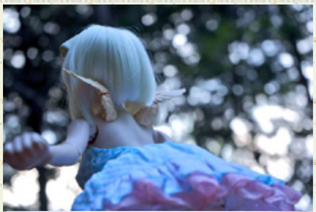














―――この娘はおムネがかなり豊かですよね。ドールなのにおムネがやわらかいことがわかる写真もありますが、素材はシリコンかなにかですか？

『はい。デーラー様によるシリコン製になります。屈指の柔らかさと造形でドール用胸部ではものすごく有名な代物ですｗ』





―――わたしは、眼鏡っ娘ドールというものを初めてみたとき、衝撃を受けました。2次元の持つ理想と、3次元の持つリアリティ。理想の存在（偶像）でありながら、同じ次元に存在する、身近に感じる、触れ合える。両方の次元のいいとこどり、これが2・5次元なのかと。それだけに惹きつけられる力は2次元や3次元の比にならないくらい強烈だと思います。皆川さんが思う、ドールについての思いや拘りのようなものを簡単に教えていただけますか？

『ドールにハマる前から固定、可動に関わらずフィギュア全般が好きで、大雑把に言って立体造形物全般が好きでした。少し脱線するのですが、ゲームやプラモデル、その他の趣味においても「カスタマイズ出来る」物が特に好きで説明書通りに作らない、進めないことが多い気がします。その天邪鬼さの様なものがドールをお迎えした後にも発揮され「自分の理想とする要素をつぎ込んだキャラクタを作ることが出来る」点でドハマリしたような気がします・・・。』

―――まとめに、皆川さんがこれまで撮影したベストショットを一枚と、皆川さんにとって「眼鏡っ娘ドールとは」なんですか？

『メガネはアクセサリであると同時に、着用者の顔たりうる存在感があります。メガネは顔の一部と言っても過言ではない程度に重要なファクターだと考えています。特に記号の集合である二次キャラクタとなっては、服やアクセサリが持つ意味合いは個性を演出する上で、より重要なポジションだと思っています。外したら「誰か分からなくなる」くらいが丁度いいかなと。そんな拘りがアンに詰め込まれています。』

―――最後に、これからドールをお迎えしようと思う方へメッセージを。

『ドールは生き物です・・・とまではいいませんが、目一杯かわいがってあげてください。油断すると髪がボサついたり埃が絡んだりします。そういった部分も日々手を入れて可愛さを維持してあげましょう。お迎えの方法は・・・ツイッターで「ドールお迎えしたいなあ」的なことを呟いていると、きっとどこからともなくドールオーナーが現れてアレコレ教えてくれます。（自分はこれをマドハンドと呼んでいますが）』

―――どうもありがとうございました。











オリジナル眼鏡っ娘のススメ

イケてる眼鏡っ娘は、アニメや商業誌の中だけじゃない！
ＷＧＯが日々の活動の中で見つけた、絵師さんオリジナル眼鏡っ娘をご紹介します。
今回ご紹介するのは、個人サークル『妖精漫画社』の、さかきさんが描く『くせっ毛ちゃん』です！



画：さかき さん (twitter:@sakaki_fff)

くせっ毛ちゃんは、くせっ毛だから髪の毛ボサボサ。無邪気でお茶目でアクティブで、
そしてちょっぴりいたずら好きで。
そんなイメージだからまるでオトコノコのようですが ---------





でもちゃんと女の子なところのギャップがたまらなく可愛らしい。

人懐っこくて、それだけにスキのあるイメージ。





だから、そのスキをついて、くせっ毛ちゃんの女の子なところに攻め入りたくなります。

最後に、そんなくせっ毛ちゃんの様々な表情をお楽しみください。

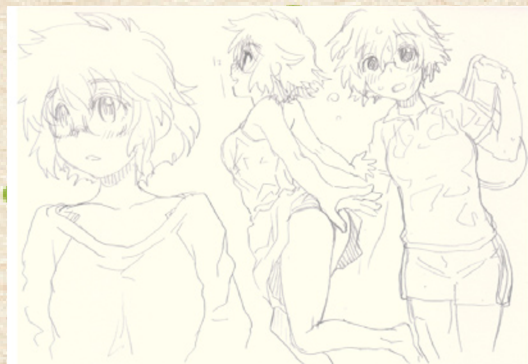


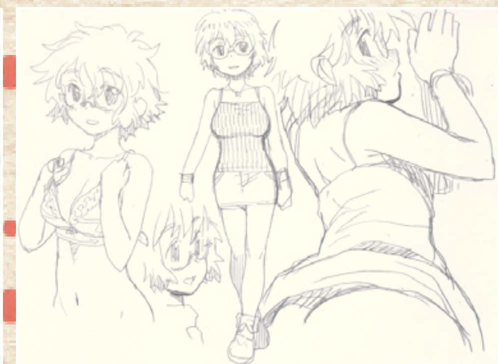








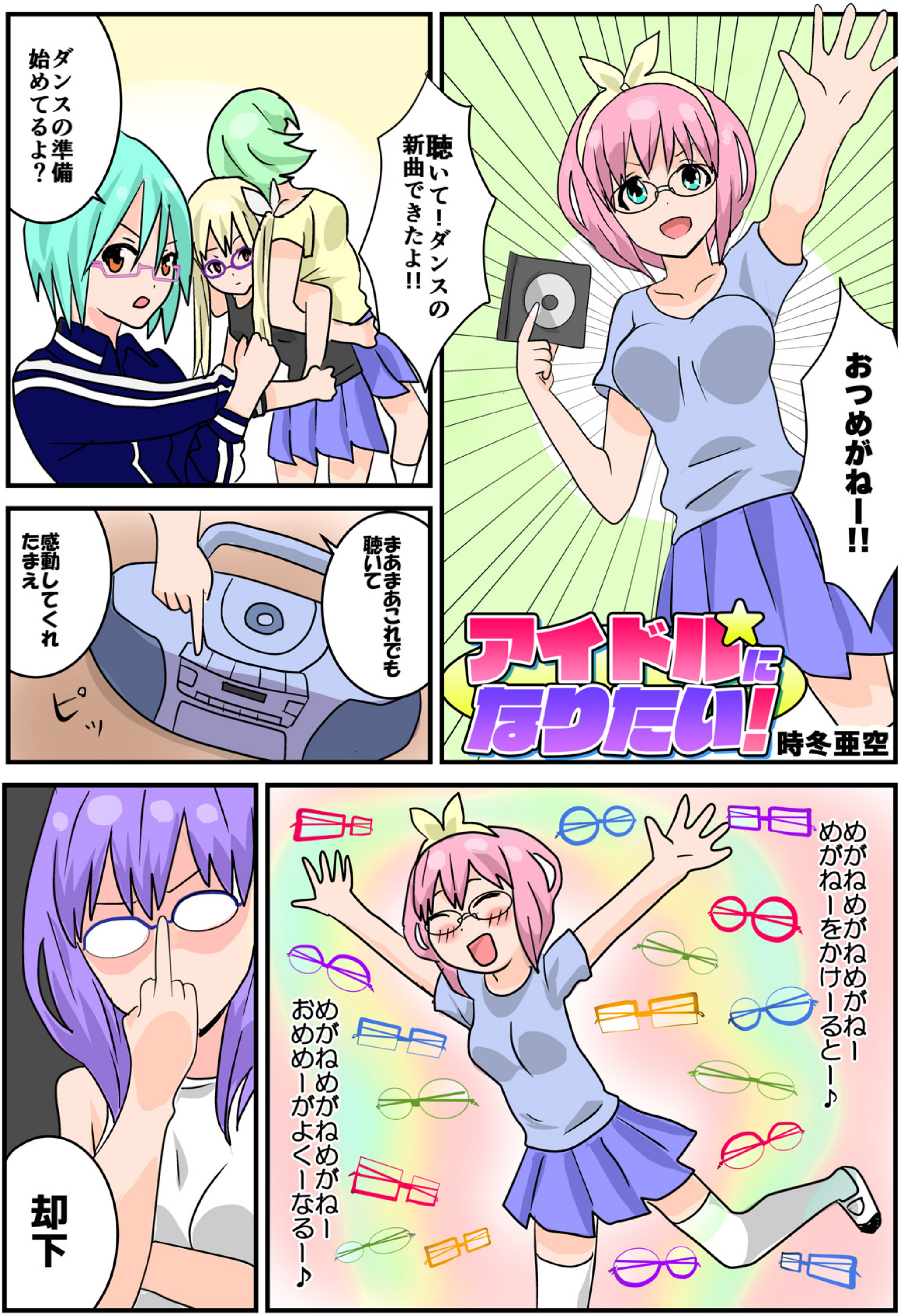


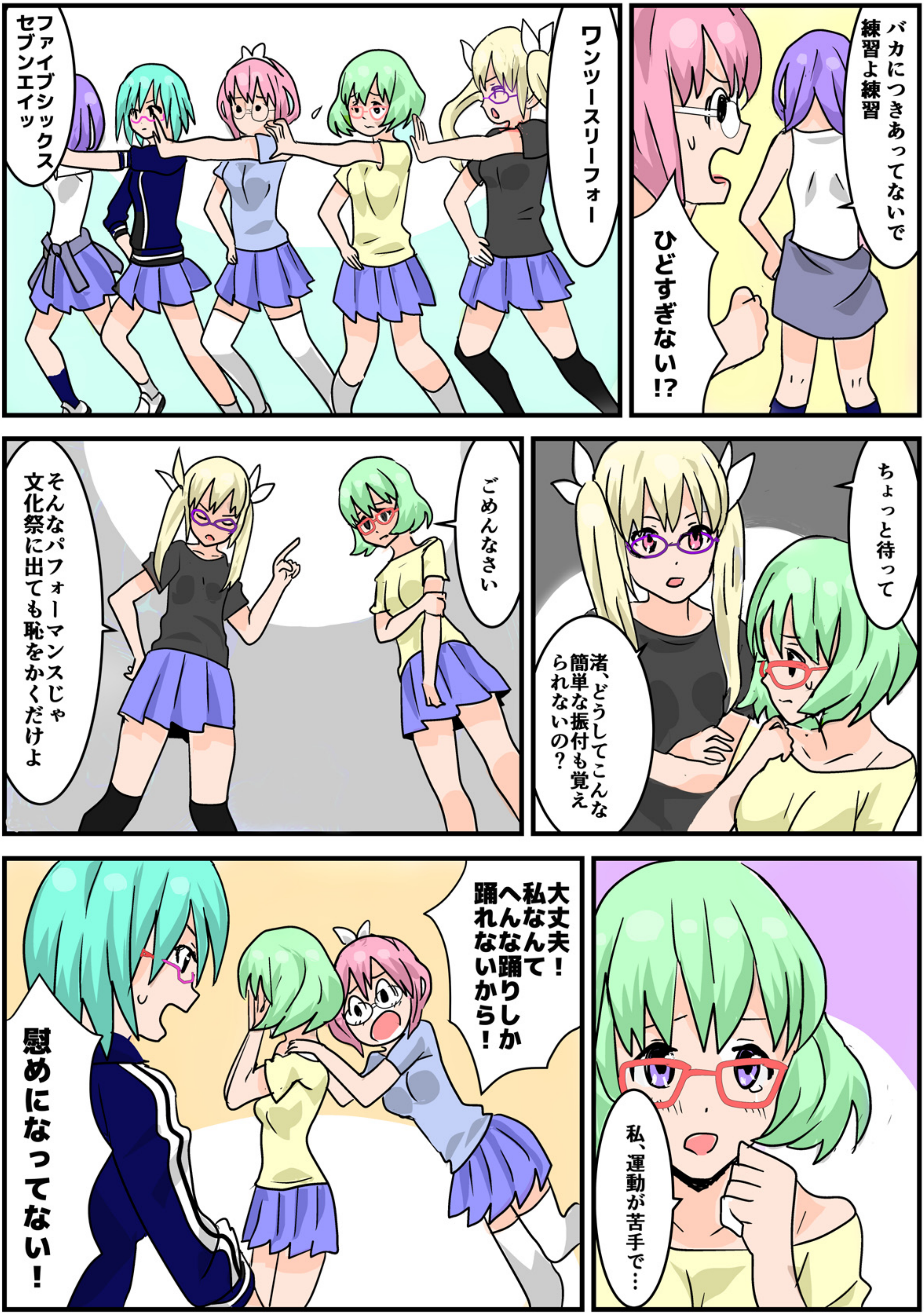


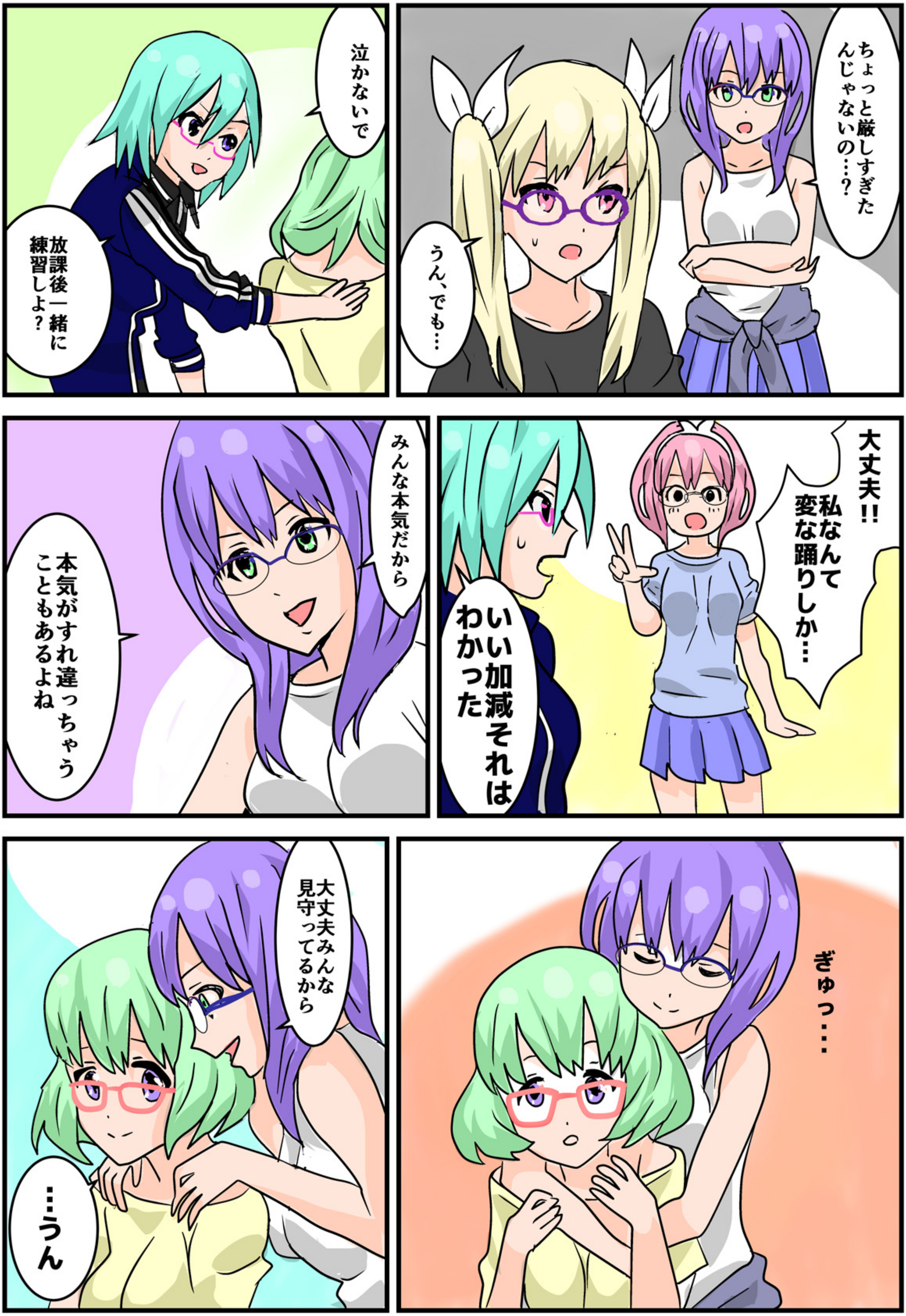


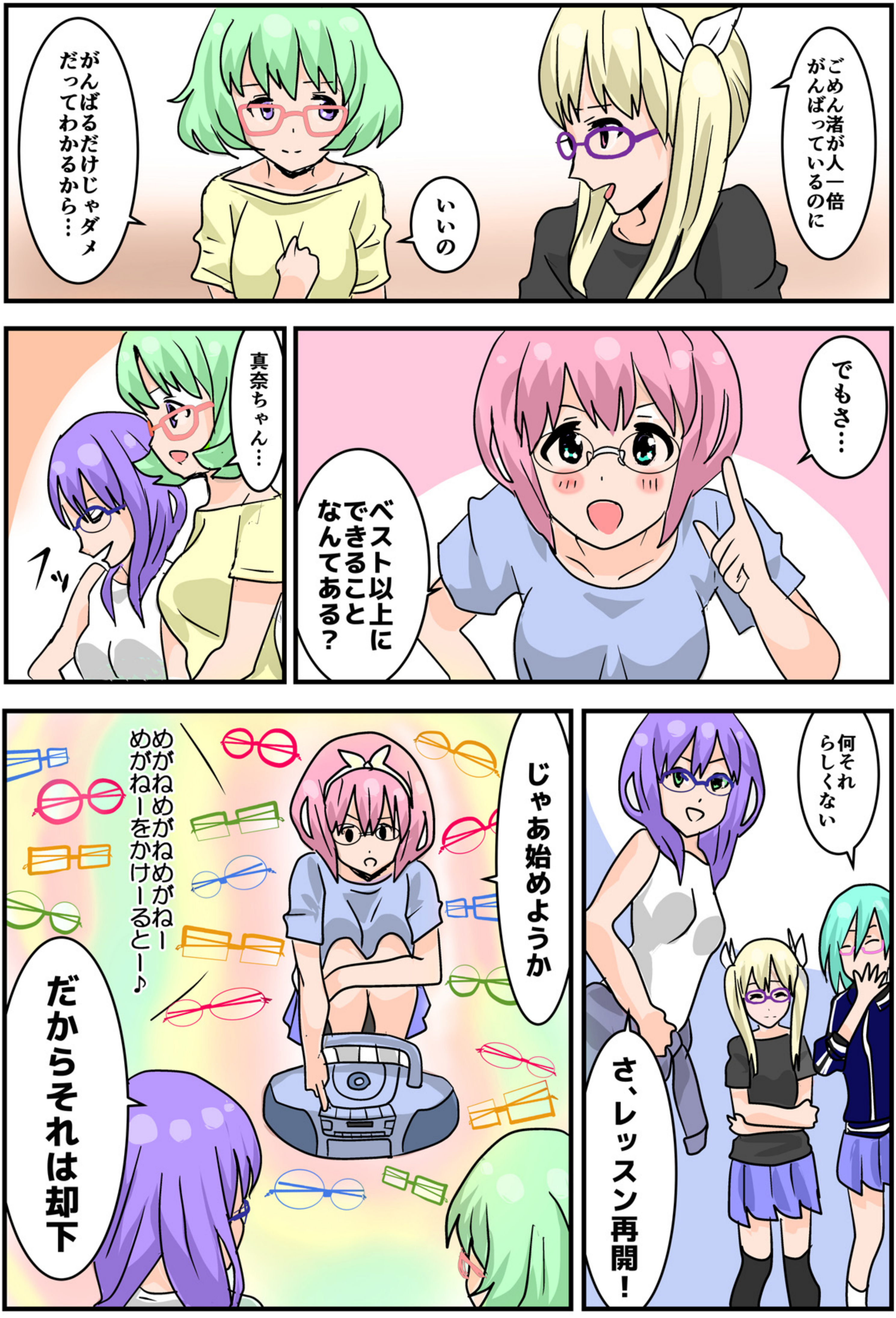

アイドルになりたい!
常葉中学アイドル部ユニット「Glassias」
アイドルを目指すメンバーを紹介!!
5人の眼鏡っ娘アイドルユニット誕生!!
担当：作曲
クールで才色兼備の美少女。真奈の一歳年上の姉で、ピアノが得意。そんな印象の半面、言葉より先に手が出る。妹より胸が小さいのが唯一の悩み。
加々美亜衣
加々美真奈
天然でおっとりしてるように見せかけて実はおてんば。歌ったり踊ったりするのが大好きで、メンバーの中では一番の情熱家。猫が大好きな14歳JC。
担当：雑用
CHARACTER


担当：服飾
男女とも憧れるグラマラスなスタイルをしているが実はコンプレックスで内向的になりがち。歌唱力はメンバーの中で群を抜いている。真奈と同じクラス。
汐見渚
夕空彼方
子役を経てアイドルになったが、高飛車な性格が災いして仕事をなくす。真奈たちと出会って初めて友だちや仲間の温かみを知った。芸能経験者なのでプロデュースに関しては一役を任されている。14歳。
担当：プロデュース
風吹景
熱血系の元気っ子。スポーツ万能で、よく女子にもてる。メンバーの中では常識人で、ツッコミ役に回ることもしばしば。歌はあまり得意ではないが、ダンスの技術は彼方に並ぶ。真奈とは同じクラス。
担当：作詞
CHARACTER


おつめがねー!!
アイドル☆になりたい!
時冬亜空
聴いて!ダンスの新曲できたよ!!
ダンスの準備始めてるよ?
まあまあこれでも聴いて
感動してくれたまえ
ピッ
めがねめがねめがねー
めがねーをかけーるとー♪
めがねめがねめがねー
おめめーがよくーなるー♪
却下


バカにつきあってないで練習よ練習
ひどすぎない!?
ワンツースリーフォー
ファイブシックスセブンエイッ
ちょっと待って
渚、どうしてこんな簡単な振付も覚えられないの？
ごめんなさい
そんなパフォーマンスじゃ文化祭に出ても恥をかくだけよ
私、運動が苦手で…
大丈夫！私なんてへんな踊りしか踊れないから！
慰めになってない！


ちょっと厳しすぎたんじゃないの…？
うん、でも…
泣かないで
放課後一緒に練習しよ？
大丈夫!!
私なんて変な踊りしか…
いい加減それはわかった
みんな本気だから
本気がすれ違っちゃうこともあるよね
大丈夫みんな見守ってるから
…うん
ぎゅっ…


ごめん渚が人一倍がんばっているのに
いいの
がんばるだけじゃダメだってわかるから…
でもさ…
ベスト以上にできることなんてある？
真奈ちゃん…
ハッ
何それらしくない
さ、レッスン再開！
じゃあ始めようか
めがねめがねめがねー
めがねーをかけーるとー♪
だからそれは却下

あとがき

代表 兼 東京グローバル本部長　眼頭一〇時〇一分

私は作る気なかったんです、この本。私はする気なかったんです、オフライン進出。ずっとネット上で
細々と活動し続けるもんだと思ってました。それが時冬さんと出会い、時冬さんの提案でいつの間にか
即売会に出ることになり、いつの間にか本を作ることになり、あれよあれよという間にここまで
来てしまいました。とはいえずっと前から、なんとなくこういう活動をしてみたいという潜在的な欲求は
あったので、それを実現するきっかけをくれた時冬さんに感謝しています。しかし、初めてのことだらけで、
正直、楽しいことばかりではなく、大変なことも多くありました。しかし同時にいい勉強になったと
思います。こういう風にみんな薄い本を作ってんだな、とｗｗ
奥付に連絡先がありますので、ぜひこの本を読んだ感想をお聞かせください！
お読みいただきありがとうございました！！

美術部長 兼 東北支部長　時冬亜空

本誌ではスペースがなかったのでこの場を借りて「Glassias!」の企画意図について述べたいと思います。
近年、アイドルブームの流れの中で「眼鏡っ娘」というフィルターを通しますと、『ラブライブ』を例に
とりますと９人中１（０）人、デレマスに至っては２００人以上のアイドルがいて１０名未満と眼鏡率は
決して高くありません。眼鏡をつけたり外したり、というキャラもいます。往々にして１割未満がアイドル
ユニットの眼鏡率というのが現状です。そこで私は「全員眼鏡っ娘のアイドルユニット」という着想を
得ました。眼鏡を外さない、眼鏡を愛するアイドル。眼鏡ギャップのない眼鏡っ娘。そういった私の
アイデアを形にしたのが「Glassias ！」なのです。まだ誕生して歩みも定まらない子たちですが、
どうか温かく見守ってくだされば幸いです。私の無茶なアイデアを了承して下さった眼頭代表には
心から感謝をしております。どうぞこれからも加々美真奈とその仲間たちをよろしくお願いします。

戦略アドバイザー 兼 千葉支部長　まー♪

眼鏡っ娘ファンによる眼鏡っ娘愛に溢れた眼鏡っ娘コレクション。
如何だったでしょうか。あなたの「眼鏡っ娘ココロ」を刺激する作品はありましたか？
此れからも様々な角度の「眼鏡っ娘愛」溢れた人々が集まります様に♪

奥付

書名：WGO 世界眼鏡っ娘機関オフィシャル機関誌 MEGANE COMPLEX 創刊号 Vol.1 2016 Jan.
発行日：2016 年 1 月 31 日（COMITIA115）
発行者：WGO 世界眼鏡っ娘機関（代表者：眼頭一〇時〇一分）

連絡先：wgo.meganekko@gmail.com / twitter: @wgo_meganekko



WGO
世界眼鏡っ娘機関

世界に広げる眼鏡っ娘の輪
Links of Meganekko, We develop.